

133号

令和4年7月20日

奇数月発行

音響の本りぼん

編集担当

藤井紗綾子(富山)
堀 裕一(石川)
西島 理(福井)編集・発行人 高野 仁 富山市舟橋北町7-1
(富山県教育文化会館)
電話・FAX 076-441-8635 jin65064@gmail.com

北陸支部主催 会員のための「技巧持続セミナー」 「ジャズミキシング・トレーニング」報告

杉本 慎介

コロナ禍のため支部としてなかなか活動を行うことができていませんでしたが、久しぶりの支部活動として「技巧持続セミナー」を6月21日に高岡市生涯学習センターホールにて開催しました。このセミナー、ビッグバンドを収録したマルチトラック音源を使用し実際に出音のバランスを取るのですが、講師がいるわけではなく受講者が自らトレーニングする形で行うセミナーです。今回は支部会員12名が参加し、思い思いのバランスでビッグバンドのミキシングを行いました。やはり人それぞれ好みの音が違うのか、フェーダーのバランスが全然違っていたのが印象的でした。当日は2種類のスピーカーを用意し、鳴き比べもしながら久しぶりのセミナーを楽しみました。

(高岡市生涯学習センター)



スピーカーシステム



トレーニングの様様



YAMAHA

Make Waves



▲ Web サイト



▲ Facebook

ヤマハサウンドシステム株式会社

AIアナが読むニュース

稲村 由香里

ある日の深夜のテレビのニュースに、ふと気になりよく聞いてみると、AIがニュースを読んでいた。どれだけの情報をAIに学習させればこういう違和感がなくなるのだろう。

人間の声を真似た音声を人工的につくる試みは、1700年代には生まれていたといわれています。その後コンピューターの誕生・発展とともに音声合成は進化を遂げます。

1940年代に初めてコンピューターが誕生し、50年代にはコンピューターを使った初めての音声合成器が誕生。

1960年代に量産型コンピューターのIBM704によって曲を歌わせることに成功し、1980年代に初代MacのOSに音声合成エンジンを搭載。そのほかWindowsなどでも音声合成が使えるようになり、音声合成を使った初めてのテレビゲームも発売された。

1990年代後半にはカーナビが普及し、この技術が広く知られるきっかけとなった。

2000年代は、初音ミクなど歌声音声合成技術が、さまざまなメディアで取り上げられ、一般的にも音声合成技術が広まった。

2020年現在は、特定の人の声の特徴を学習させ、それに似た合成音声で発話させる技術が進む中で、身近な人から有名人まで多種多様な合成音声をデータベース化出来るようになってはきているが、まだ完璧に人間の感情表現を再現出来るところには至っていないといわれています。

私たちが良く知る音声合成の代表といえばカーナビです。

カーナビは、全国の各地の交差点の名称というような詳細なレベルの情報を、すべて音声で出力する必要があり、生身の人間であるナレーターがスタジオですべて収録してはきりがなく、かかるコストも莫大になります。同じようにゲームやスマートスピーカー、オーディオブックなど、膨大な種類に対応する必要があるものは時間とコストの点からみれば非常にメリットが大きく、途中で修正や変更が入る可能性のあるナレーションなどでは、再収録を行うなどの後戻りを防ぐことが出来て、コスト面はもちろんのことプロジェクトの進行や機動性などの面からも大きなメリットがあります。

デメリットはやはり生身の人間のしゃべりと比べると発音や、イントネーションが不自然に聞こえる場合があるという点です。以前に比べるとその度合いは大幅に低減されているものの、人間のしゃべりを完璧に代替できるというレベルにはまだ至っていない。冒頭のニュースの違和感の原因は「感情表現」、AIに感情はないから。

それぞれ単語だけを聞くと、発音もアクセントも間違っていないのに文章になると何故か不自然に聞こえることがある。

音声合成技術がさらに進化して、私が感じたような違和感がなくなる時が来たら、メリットも多いけど必ず悪事に利用する人が出てくると思うと、これ以上AIには人間らしさは必要ないのかもしれない。

(株式会社金沢舞台)



初代MAC



AI自動音声ニュース

心に響く音づくり

音響計画・コンサルタントから
音響設計・監理・測定・運用協力

浪花千葉音響計画有限会社
Naniwa Chiba Acoustics Inc.

〒160-0006 東京都新宿区舟町1番地13(スリーオークスビル4F)
Phone 03-5919-1081 Fax 03-5919-2256 URL <http://www.nca.co.jp/>

【ネット予約スタート！！金沢市民芸術村】

牧野 豪

皆様、ご無沙汰しております。金沢市民芸術村の牧野です。この4月に10年以上勤務した金沢芸術創造財団 事務局を離れ(退職したわけではありません(笑))、施設の方で勤務しております。久しぶりの現場で、戸惑うこともあります。芸術村の心地よい空間の中で、日々、仕事をさせて頂いております。

さて、その芸術村ですが、5月19日より、インターネットを利用した施設予約が開始されました。ご存知のように、芸術村自体が、24時間365日稼働の施設ですが、施設予約に関しては、事務所の開いている時間(9時から21時まで)に限定されておりました。それが、24時間365日、施設予約(仮押さえ)が可能になりました！(※メンテナンス時間を除く)もちろん、事前の利用者登録は必要になりますが、電話や窓口まで来て頂く手間もなくなり、皆さん、空いた時間に手軽に施設予約が出来るので、利便性は格段に向上したと思います。ただ、予約は出来るのですが、あくまで、仮の予約(仮押さえ)です。というのは、芸術村自体、芸術文化に特化した目的施設ですので、それ以外の目的でのご利用は、原則、お断りしています。(ですので、営利目的での利用は出来ないことになっております)また、各施設には利用方法や利用人数も設けられており、仮押さえが出来たからと言って、直ぐに予約確定するわけではありません。予約が入ったら、部屋の利用目的に合致しているか、人数は問題ないか等、職員が予約毎に確認します。その上で、問題なければ、予約承認(予約システム上は、仮予約)を致します。システム稼働したばかりで、諸々、改善しながら進めておりますので、ご迷惑おかけすることもあるかと存じますが、お手軽に予約も出来ますので、ぜひ一度、芸術村まで、お越しいただければ幸いです。

(金沢市民芸術村)



金沢市民芸術村



パフォーマンススクエア



ドラマ工房

Vi2000™

会場を思いのままに制御する
オールインワンのデジタル・ミキサー
「Vi3000」のコンパクト・モデル

ヒビノ株式会社 <http://www.hibino.co.jp/>

はじめまして

清水 遼太郎

皆様はじめまして。富山県教育文化会館でホールを担当しております清水遼太郎と申します。現在音響家協会北陸支部に所属しているわけではない私が、なぜ「小音響かわらばん」に文章を載せることになったかといいますと、私の2人の上司がなんとどちらも北陸支部の幹部でありまして、今年度に入って「書いてみないか」と何度かお誘いを受けた次第でございまして、今回このような機会を得たというわけです。

さて、私が公益財団法人富山県文化振興財団に入社し、今の職場である富山県教育文化会館に配属されて早くも3年目に突入しました。舞台業務関連の専門教育を受けてきたわけではない私は、まず舞台担当としてホール利用者の皆さんとの現場でのやり取りや照明、音響の希望を仲介すること等から始めたのですが、だんだんと簡単な照明、音響を担当する機会を頂くことが増えてきました。小音響かわらばんへの投稿ということで、今回はまだまだ未熟な私が最近の音響業務を通じて感じたことなんかを書いていこうかと思えます。

私が本格的に初めて担当した音響業務は（それまでも簡単なマイクミキシング等はありませんでしたが）バレエ公演の音出しでした。舞台監督さんのキューに合わせてプレイヤーの再生ボタンを押すのがメインの業務だったわけですが、こんなにも緊張しながら再生ボタンを押すのは初めてでした。もうひとつ印象的だった業務を上げるとするなら、民謡のイベントで音響を担当したことです。マイクの本数が今までよりも多かったのと、なによりミキシングの難しさが印象的だった仕事でした。三味線、胡弓、尺八、太鼓、そして唄、これらをいかにしてバランスよくお客さんに聴かせるか、音に対する自分の感覚が問われているなどまさに感じた仕事でした。

これから先には、まだまだ複雑で難しい仕事を担当することになると思いますが、先に挙げたような業務でなるべく緊張せずに仕事をできるように知識経験を蓄積していけたらと思っています。ということで、社会科見学の感想文のような文章になってしまいましたが、今回はこの辺で失礼します。

（次に書く機会があるとすれば、私の音響技術と文章力が上がっているといいなあなんて思ったり…。）

（富山県教育文化会館）



初めての相棒・MIDAS VENICE240



全てが革新的 次世代ワイヤレス・インカム

RIEDEL

BOLERO WIRELESS INTERCOM

アンテナとベルトバックだけで運用できる*Standalone*バージョンと、Artistインカムシステムと統合して使用できる*Integrated*バージョンを選択可

OTARITEC オタリテック株式会社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 TEL: 03-6457-6021 www.otaritec.co.jp

ライブ・エンターテインメントEXPO2022に参加して

高野 仁

去る2022年6月29日～30日に東京ビッグサイトで開催されたライブ・エンターテインメントEXPO2022にスタッフとして参加して来ました。このイベントに参加するのはこれで4回目、コロナ禍の影響もあるのですが、巣籠り需要の高い出店が目立ったような気がします。私が担当したのは、東4ホール1-61特設ステージで行われた「サイレント・ワークショップ ヘッドフォン&イヤフォン試聴・体験」の運営でした。Audio-Technica、BOSE、FOSTEX、Goldendance、Sennheiser、Shureのメーカー各社のクローズ、オープン、ノイズキャンセリング、骨伝導などの製品を聴き比べできる絶好の機会、運営そのものよりも個人的に聞き比べすることの方を楽しんでしまいました。以下は聴き比べした製品です。

Audio-Technica ATH-E70 クローズド・イヤフォン

Audio-Technica ATH-R70x オープン・ヘッドフォン

BOSE NC700UC ノイズ・キャンセリング・ヘッドフォン

FOSTEX T50RP オープン・ヘッドフォン

Goldendance DoubleSound オープン・骨伝導ハイブリッドイヤフォン

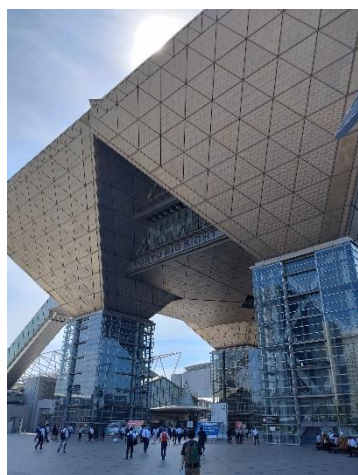
Goldendance SOUNDBONE オープン・骨伝導イヤフォン

Sennheiser IE100PRO クローズ・イヤフォン

Shure SE215-CL クローズ・イヤフォン

各社・各製品にそれぞれ特徴があり、ヘッドフォンやイヤフォンを使うシーンでもいろいろと使い道は違うだろうと予想しながら試聴してましたが、中でも骨伝導は初めての経験でした。骨伝導方式と空気伝導方式を融合させたGoldendance DoubleSoundは、高音部を骨伝導で、低音部を空気伝導としている新技术を採用した製品。Goldendance SOUNDBONEは骨伝導方式のイヤフォンで、振動で音を聞くため、長時間聴いても疲れにくい製品。僕は左耳の聴力が低いのですが、骨伝導だときれいに聴くことができました。不思議なものです。耳の聞こえないベーターベンが棒を口に咥えてピアノの音を骨で聴きながら作曲していたのもこういうことなのか、と身をもって体験しました。中でも注目したのは骨伝導ワイヤレスイヤフォン Boco PEACE SS-1はとてもスタイリッシュで耳たぶに挟むだけの製品で気軽さも良く、音もクリア。気に入りました。個人的にも欲しいと思った訳です。

(富山県教育文化会館)



東京ビッグサイト ライブ・エンターテインメントEXPO 会場



骨伝導ワイヤレスイヤフォンBoco PEACE SS-1

感動を支える、伝統と革新

Morihei

森平舞台機構株式会社

本社 〒111-0033
東京都台東区花川戸二丁目 11 番 2 号
TEL(03)3842-1621 (代表)

北海道・東北・富山・名古屋・

大阪・九州・埼玉・栃木

♪♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪♪

この2か月間、北陸支部主催技巧持続セミナー「ジャズミキシング・トレーニング」、音響家技能認定講座「クリエイティブコース」《1級音響技術者技能認定》、ライブ・エンターテイメントEXPOと3つのイベントに参加しました。コロナ禍とはいえ、こうしてイベントに参加できることが実に嬉しいものですね。大きく刺激を受けました。

こうして得た知識は、お客様にどんどん還元して行きたいものです。

次号134号は来月8月に発行予定にしています。富山で開催した音響家技能認定講座クリエイティブコースの報告をします。

(高野 仁)

裏方がハレの舞台へ登場

マイクケーブル8の字巻きグランプリ2022
北陸支部 竹内裕哉氏 準優勝！！

2022年7月1日(金) 11:30予選 14:30決勝戦

東京ビッグサイト ライブ・エンターテイメントEXPO特設会場で開催された、マイクケーブル8の字巻きグランプリ2022において、当協会北陸支部の竹内裕哉氏(株式会社エスアールディ)が準優勝されました。北陸支部としても大変名誉なことであり、喜ばしいことです。詳しくは、次号でご報告頂きます。竹内さん、おめでとうございます！



←優勝の藤木理成さん(左)
準優勝の竹内裕哉さん(右)

《訂正のご案内》

令和4年5月20日発行の小音響かわらばん131号ですが、正しくは132号でした。お詫びして訂正いたします。

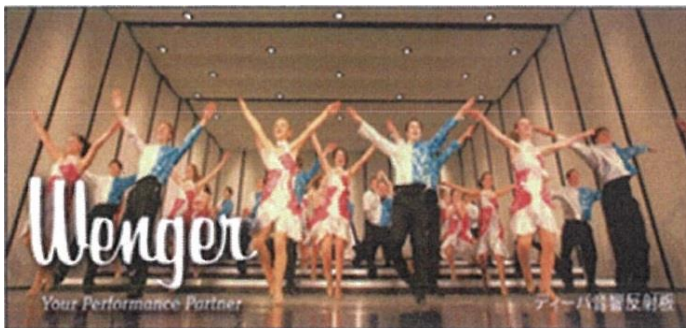
発行人：高野 仁

日本音響家協会北陸支部会員名簿

職場を異動になった人、住所が変更になった人は、事務局までご連絡ください。

(岩崎 証意 hokuliku@seas-jp.org)

- | | |
|-------|---------------|
| 稲村由香里 | (株)金沢舞台 |
| 岩崎 証意 | 富山県教育文化会館 |
| 浦風 昭一 | 有限会社ショー・ワン |
| 江口 新一 | 金沢市民劇場 |
| 大野 吉信 | (株)開進堂楽器 |
| 大畑 雅之 | (株)イメージアップ |
| 加藤 敏久 | フリーランス |
| 木村純一郎 | 富山県文化振興財団 |
| 澤田 誠 | 入善コスモホール |
| 四折 貴之 | |
| 鹿野 浩司 | 株式会社 エスアールディ |
| 新谷美樹夫 | L.F.I (株) |
| 杉本 慎介 | 高岡市生涯学習センター |
| 高木 智裕 | 富山県高岡文化ホール |
| 高野 仁 | 富山県教育文化会館 |
| 鷹栖 了 | フリーランス |
| 高畑 進 | (株)開進堂楽器 |
| 竹内 裕哉 | 株式会社 エスアールディ |
| 田嶋 友亮 | 氷見市芸術文化振興財団 |
| 寺 仁 | 金沢市民芸術村 |
| 永澤 清一 | 財団法人クロスランドおやべ |
| 中川 靖夫 | 富山県高岡文化ホール |
| 永原 諒 | L.F.I (株) |
| 西 一彦 | フリーランス |
| 西畠 理 | ハートピア春江 |
| 藤井紗綾子 | 富山県民小劇場オルビス |
| 堀 裕一 | 金沢歌劇座 |
| 牧野 豪 | 金沢市民芸術村 |
| 水上 智之 | (株)開進堂楽器 |
| 水野 文雄 | フリーランス |
| 湊 晃 | 北日本放送 |
| 本 輝夫 | 聲音軒本舗 |
| 森山 茂 | エービシステム |
| 山口 雅照 | 金沢歌劇座 |
| 山崎 武志 | フリーランス |
| 山本 広志 | 高岡市民文化振興事業団 |
| 吉田 正勝 | フリーランス |



エムアンドエヌはいつでも皆様の
パフォーマンス・パートナーです

M&N 株式会社エムアンドエヌ
<http://www.mnsv.co.jp>